

教科・場面：国語「動物たちが教えてくれる海の中の暮らし」
 学年：5年

0. 各段落をノートにまとめる。

-----ロイロノート活用-----

1. ノートを見ながら、要旨をわかりやすく表現する。（*1調べた方法、予想、結果、考察、まとめ）

※文章でまとめても、絵や図でまとめてもOK。

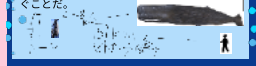
2. 各ページ（*1）を印刷し、リーフレットを作成する。

児童A（言語化して端的に表現ができる）

考察
海の中の動物は、素直な移動をするために、ちょうどよい速度（時速4~8km）で泳ぐ。

まとめ
海の中の動物は深く長くもぐるが、ゆっくり泳ぐ。


深いところにある餌を取るために長く泳がなければいけない。そのコツとは、ゆっくり泳ぐことだ。



児童B（物事を端的に表現するのが難しい）

考察
海の中の動物は、素直な移動をするために、ちょうどよい速度（時速4~8km）で泳ぐ。

まとめ
海の中の動物は深く長くもぐるが、ゆっくり泳ぐ。




同じ論述部分（まとめ）を文章、イラスト、絵で表現している。

使用方法 活動の展開



児童C（要旨を表現することが難しい）


結果3
体の大きさがことなっても、泳ぐ速さはあまり差がない。



時速4~8 km

児童D（要旨を表現することが難しい）

結果2
巨大なクジラの泳ぐ速さはアザラシと同じくらいだった。

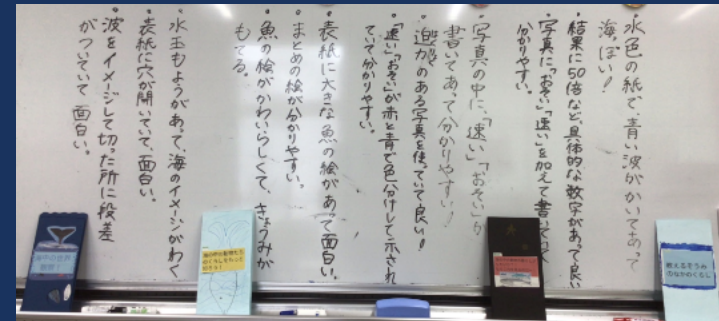


論述部分は違うが教科書の表を活用して、色分けしたり、数値化したりして表現している。

ロイロノートを 活用したメリット

- 文章や図、絵など、いろいろな表現方法を共有できる。（文章化が苦手な児童でも取り組みやすい）
- ロイロノートで各ページ（論の展開）を作成することで、リーフレットを創造的に制作しやすい。

児童の様子 や変化



- 文章化や国語に苦手意識がある児童でも、「どのようなイラストを選んだらわかりやすいか？」「どのような絵を描いたら伝わるか？」など、要旨をかみ砕きながら表現方法を考えることができた。
- 完成した友達のリーフレットを見合って、様々な表現方法を共有でき、まとめ方の工夫を学び合うことができた。